# 平成２８年度 伊勢崎市佐波郡中学校体育連盟 春季大会
# 柔道大会　要項

１　主　　催　　伊勢崎市佐波郡教育委員会連絡協議会　　伊勢崎市佐波郡中学校体育連盟

２　主　　管　　伊勢崎市佐波郡中学校体育連盟　柔道部

３　大会期日　　平成２８年４月２３日（土）７時００分　開場　　７時５０分　集合・計量
　　８時３０分　審判会議８時４５分　開会式
　　９時００分　試合開始

４　会　　場　　伊勢崎市境武道館　　０２７０－７４－３９０５
　　スポーツ振興課　　０２７０－７４－１１１３

５　大 会 役 員

専 門 部 長　松本　明良(宮郷中)
専門副部長　大塚　弘之(第四中)
専門委員長　三輪　洋介(宮郷中)
委　　員　星野　治道(第一中)　竹林　千晴(第一中)　新井　聡明(第二中)
佐藤　裕之(第二中)　橋本　和也(第三中)　高橋　哲(第四中)
堀口　慶子(第四中)　芳賀　武史(殖蓮中)　豊島　俊春(殖蓮中)
今泉　敦子(宮郷中)　阿佐美　勝(赤堀中)　坂部　洋平(赤堀中)
木暮　寛幸(あずま中)　田所　三幸(あずま中)　佐藤　康(境南中)
佐藤実可子(玉村中)　高橋志津子(玉村中)　野口　高弘(玉南中)
中嶌祐一郎(玉南中)

６　審判規定

国際柔道連盟試合審判規定(2014施行の新ルール)および「少年大会特別規定」による。また、全柔連が定める団体戦の勝敗決定方法を含める。ただし、佐波伊勢崎中体連申し合わせ事項を優先する。

７　選　　手

（１）男子団体戦は、各学校単位編成とし、監督１名選手５名補員２名とする。
（２）女子団体戦は、各学校単位編成とし、監督１名選手３名補員１名とする。
（３）選手の編成は、体重の最も多い者を大将とし、以下順次体重順に編成するものとする。なお、補員を入れるときは、順次編成替えをする。
（４）男子団体戦で、選手が５名に満たない場合には、大将より順に編成し間に欠員を置かない。また、女子団体戦については、選手が３名に満たない場合には、先鋒を空けるものとする。
（５）団体戦において補員の充当により抜けた選手も、個人戦には出場できる。
（６）個人戦は、各体重別とする。
＜男子＞　50Kg以下，50kg超 ～ 55Kg以下，55Kg超 ～ 60Kg以下,60Kg超 ～ 66Kg以下，66Kg超 ～ 73Kg以下,73Kg超 ～ 81Kg以下 ,81Kg超 ～ 90Kg以下，90Kg超
＜女子＞　40kg以下，40kg超 ～ 44Kg以下，44Kg超 ～ 48Kg以下，48Kg超 ～ 52Kg以下，52Kg超 ～ 57Kg以下，　57Kg超 ～ 63Kg以下，63Kg超 ～ 70Kg以下,70Kg超

８　試合時間

《団体戦》予選リーグ２分　決勝トーナメント３分

《個人戦》準々決勝まで２分　準決勝・決勝３分

９　試合方法

《団体戦》

団体戦における優勢勝ちの判定基準に「僅差」を取り入れ、その内容に満たない場合は「引き分け」とする。「僅差」勝ちとは、「指導」差が２段階以上あった場合、「指導」の少ない選手を優勢勝ちとする際の名称とする。

（１）男子は1組を２または３校のリーグに分け、各組で予選リーグ戦を行い、各組の上位２校、８校によるトーナメント戦を行う。女子は１組３校の３リーグに分け、各組で予選リーグ戦を行い、各組の上位２校、６校によるトーナメント戦を行う。

（２）リーグ戦の各試合の勝敗は、次の順によって決定する。

（ア）　勝ち数による。

（イ）　（ア）において同等の場合は、「一本による勝ち」の数による。

（ウ）　（イ）において同等の合は、「技ありによる勝ち」の数による。

（エ）　（ウ）において同等の場合は、「有効による勝ち」の数による。

（オ）　（エ）において同等の場合は、引き分けとする。

（３）リーグ戦の順位は、次の順によって決定をする。

（ア）　チーム間における勝ち、引き分け、負けの率による。

（イ）（ア)において同率の場合は、勝ち数の合計による。

（ウ）（イ)において同等の場合は、勝ちの内容による。

（エ）（ウ)において同等の場合は、負け数の合計による。

（オ）（エ)において同等の場合は、負けの内容による。

（カ）（オ)において同等の場合は、任意の選手による代表戦により決定する。
ただし、３校同等の場合は、代表選手３名によるリーグ方式を行う。

（４）トーナメント戦の各試合の勝敗は、次の順によって決定する。

（ア）　勝ち数による。

（イ）　（ア）において同等の場合は、「一本による勝ち」の数による。

（ウ）　（イ）において同等の場合は、「技ありによる勝ち」の数による。

（エ）　（ウ）において同等の場合は、「有効による勝ち」の数による。

（オ）　（エ）において同等の場合は、任意の選手による代表戦により決定する。

《個人戦》

個人戦における判定基準は「有効」または「指導１」以上とする。

（１）各階級でトーナメント戦を行う。

10　表　　彰

団体戦の優勝校には、優勝杯及び賞状を授与し、第２位校、第３位校には賞状を授与する。
個人戦は、各階級ごとに別途定める。

11　代表資格

《男子　団体戦》本大会では、優勝校、第２位校が代表資格を持ち、県大会に進出する。

《女子　団体戦》本大会では、優勝校、第２位校が代表資格を持ち、県大会に進出する。

**※４月２１日（木）の県競技部総会で決定する。**

《男子・女子　個人戦》各階級の優勝者が代表資格を持ち、県大会に進出する。なお、各階級の県大会シード選手を擁する階級については、シード選手を除いた上位第１位が代表資格を持ち、県大会に進出する。補欠者は、シード選手を除いた上位第２位とする。男子の各階級の選手登録が１６名につき１名女子は各階級の選手登録が８名につき１名、代表資格者が増える。また、県大会シード選手が本大会のその階級の計量を通過できなかった場合は、県大会への出場資格を失うものとする。

12　佐波伊勢崎中体連申合せ事項

《団体戦》

（１）男子予選リーグの順位を決定する代表戦の試合時間は２分とし、得点差がないときは延長戦(ｺﾞｰﾙﾃﾞﾝｽｺｱ)２分により勝敗を決する。試合終了時同等の場合は、旗判定により必ず勝敗を決する。

（２）決勝トーナメントにおける代表戦の試合時間は３分とし、得点差がないときは延長戦(ｺﾞｰﾙﾃﾞﾝｽｺｱ)２分により勝敗を決する。試合終了時同等の場合は、旗判定により必ず勝敗を決する。

《個人戦》

（１）得点差がないときは旗判定を行い、必ず勝敗を決する。ただし、準決勝、決勝、３位決定戦では得点差がないときは延長戦(ｺﾞｰﾙﾃﾞﾝｽｺｱ)２分により勝敗を決する。試合終了時同等の場合は、旗判定により必ず勝敗を決する。

13　そ の 他

（１）選手は規定のゼッケンをつける。ゼッケンのない者は、出場できない。なお襟から10ｃｍ下に下記のように付ける。

（２）相手を威圧するような行為(染髪・眉剃り等)をしている生徒は、出場できない。

（３）脳震盪対応について、選手および指導者は下記事項を遵守すること。

①大会前１ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。

②大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。（なお、至急、専門医［脳神経外科］の精査を受けること。）

③練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。

④当該選手の指導者は大会事務局および全柔連に対し、書面により事故報告書を提出すること。

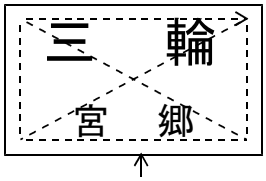
（４）試合時の帯の色は、若番（対戦表の上または左）を赤，古番（下または右）を白とする。

（５）試合当日、「団体戦参加申込書」とともに、団体戦の対戦用に下のメンバー表（模造紙1/4）を男子は２部、女子は１部を受付へ提出する。

（メンバー表）

| 先 | 次 | 中 | 副 | 大 | 学校名 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | 補員 補員 |
| （模造紙1/4） | | | | | |

（ゼッケン）　30 ～ 35（cm）




25 ～ 30（cm）

・男子は黒、女子は赤文字
・対角線にも強い白い糸で縫いつける。
・指がどこにも入ったり、ひっかかったりしないように縫う。